



健やか親子21

子育て世代包括支援センターに関する研修

2020年度末までの全国展開を目指している「子育て世代包括支援センター」を設置・運営をしていく過程で、多くの自治体がさまざまな課題を挙げています。

本研修では、同センターの役割を確認しつつ、支援プラン等の策定に代表される諸課題の解決のために必要な知識・技術を習得していただき、学んだことを子育て世代包括支援センターの職員へ伝達をしてください。同センター全体の相談・支援体制の質の向上のためにぜひご参加ください。

《開催日・会場》 **受講料：無料** **定員：各 100名** (定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただきます)

- 9月 9日(月)【東京】 平和と労働センター・全労連会館 2階 ホール (文京区湯島)
- 9月 13日(金)【札幌】 北海道自治労会館 3階 中ホール (札幌市北区)
- 10月 11日(金)【仙台】 東京エレクトロンホール宮城 6階 601大会議室(仙台市青葉区)
- 10月 15日(火)【大阪】 エル・おおさか 南館5階 南ホール (大阪市中央区)
- 11月 12日(火)【鹿児島】 TKP ガーデンシティ鹿児島中央 3階 薩摩ホール (鹿児島市中央町)

《受講対象者》自治体において子育て世代包括支援センターの設置・運営を中心的に担っている職員
※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

《到達目標》

- ・子育て世代包括支援センターの役割を理解し、それに必要な知識・技術を身に付ける。
- ・本研修で学んだことを職員へ周知し、相談・支援の質の向上につなげる。

《プログラム》 (受付 9:40～9:55)

9:55～10:00 開会・事務連絡

10:00～11:30 **講義① 「子育て世代包括支援センターが目指すべきもの」**

- ・子育て世代包括支援センターに求められる役割
- ・従来の母子保健事業との違い
- ・全国展開が目指されてから変わってきたこと

11:30～12:30 昼休み

12:30～14:15 **講義② 「『利用者目線』と『顔の見える関係性』**

- ・子育て世代包括支援センターの理念
- ・顔の見える関係の重要性 (利用者、多機関連携)
- ・利用者目線に立った支援プラン策定とその後のフォロー 等

14:15～14:25 休憩

14:25～15:25 **事例発表 「地域に合わせた子育て世代包括支援センターを目指して」**

15:25～15:35 休憩(移動含む。)

発表自治体：調整中

15:35～17:00 **ディスカッション 「妊産婦に寄り添った切れ目ない支援のために」**

《講師》 (五十音順・敬称略)

佐藤 拓代 大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健情報センター 顧問 (全会場) 《講義①・ディスカッション》

高橋 睦子 吉備国際大学保健医療福祉学部社会福祉学科 教授 (全会場) 《講義②》

森鍵 祐子 山形大学大学院医学系研究科看護学専攻 准教授 (仙台会場) 《ディスカッション》

● **本研修に関するお問合せ** ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館
<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日9時～17時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします。

こちらからもアクセス可能です⇒

